

EU Indicators

欧州経済指標コメント：8月ドイツ消費者物価（確報）

発表日：2010年9月10日（金）

～賃上げ交渉の行方などが先行きのコア物価に与える影響を注視～

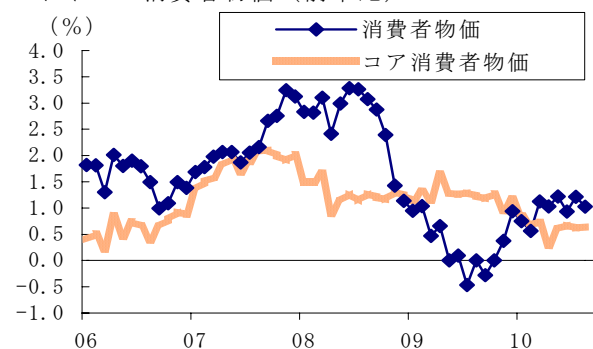
第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 田中 理

03-5221-4527

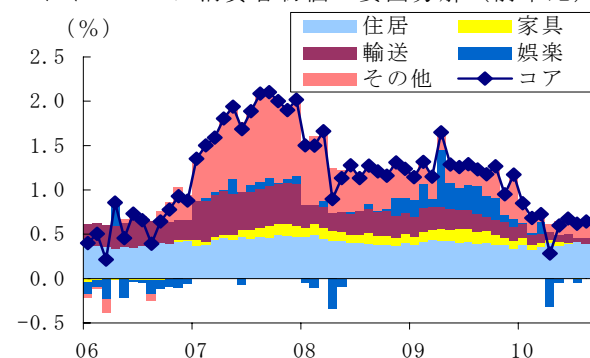
- 8月のドイツの消費者物価（確報値）は前年比+1.0%と速報値から不変（前月は同+1.2%）。春先以降は同+1%前後での上下動を繰り返している（左図）。新たに発表された項目別の内訳によれば、コア物価（食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く）が同+0.6%と前月と同率にとどまるなか、ガソリン価格の上昇率の縮小（同+11.2%→同+5.3%）が全体の計数を押し下げた。原油先物価格の推移から判断して、エネルギー価格による物価の押し上げは今後徐々に縮小していく見込み。
- 本年入り後に前年比+1%未満に水準を切り下げたコア物価は同+0.6%前後で底這い傾向（4月の同+0.3%は振れの大きいパッケージ旅行による一時的なもの）。コア物価の伸び率縮小は、主にパッケージ旅行などの娯楽費や公共交通費などの輸送費（自動車燃料除く）に因るもの（右図）。
- これまでのところコア物価の安定基調が崩れる気配はない。だが、失業率の低下や設備稼働率の底打ちなど、労働・財需給ともに限界的には引き締め方向にある。こうしたなか、一部労組が秋の労使交渉での大幅賃上げ要求を検討している点には注意を要する。ユーロ加盟国間での域内格差が拡大するなか、域内最大国のドイツの物価安定が脅かされた場合、ECBは難しい政策の舵取りを迫られる。

■ドイツの消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・エネルギー除く
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツのコア消費者物価の要因分解（前年比）



注：住居・輸送費からは各々エネルギー価格を除いた
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの消費者物価（%）

		2009		2010		2010					
		3Q	4Q	1Q	2Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価	（前期比）	0.1	0.3	0.2	0.4	0.6	0.2	-0.1	0.0	0.1	0.1
消費者物価	（前年比）	-0.2	0.4	0.8	1.1	1.1	1.0	1.2	0.9	1.2	1.0
コア消費者物価	（前年比）	1.2	1.1	0.8	0.5	0.7	0.3	0.6	0.7	0.6	0.6
食料品	（前年比）	-2.8	-2.5	-0.8	1.3	0.3	1.5	1.3	1.2	2.6	2.8
アルコール	（前年比）	1.2	0.8	0.7	0.5	0.6	0.7	0.4	0.3	0.7	0.7
タバコ	（前年比）	5.1	5.5	5.4	3.5	5.3	5.3	5.0	0.4	0.5	-0.1
エネルギー	（前年比）	-9.2	-3.0	1.7	4.3	4.0	5.2	4.9	2.8	4.6	2.5
住宅用燃料	（前年比）	-6.0	-6.1	-4.3	0.0	-3.0	-0.2	0.5	-0.2	1.3	1.1
自動車燃料	（前年比）	-14.8	3.6	14.8	12.8	19.4	16.4	14.0	8.5	11.2	5.3

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。
出所：ドイツ連邦統計局